

時事新報

第二千八百五十五號
明治廿三年十月廿二日
舊曆庚寅九月廿二日
(丙子)

時事新報定價

時事新報一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價

送送料廣告料ノ如シ
一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百

月曜日并に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り
時事新報配達のため此場合に代價一箇月前金八割にして地方に郵送する分は此外郵便の賃費を中受可し

時事新報

府縣立師範學校長の給料

近來學校に關する諸制度の改正續々公布せられたる其中には時宜に満したるものも少ならずして小學校令の如きは精神に於て新舊多少の變化あるにも拘らず大要は市町村制實施の必要に迫られしむを得ざるに出たる處置なりと云はざるを得ず又彼の教員退隱料及び遺族扶助料法の如きも教育上の必要に生じたるものにして我輩の異論なき所なれども獨り法律第九十一號中に府縣立師範學校長の俸給を國庫の負擔と定めたる一項に至りては了解に苦しむ所なきにあらざれば聊か其不審の次第を述べんに抑も現行の師範學校令に據るに府縣立師範學校の經費は地方稅より支辨すべしとありて學校全體の費用は勿論、校長教員の俸給に至るまでも地方稅に仰ぐの法にして其支出を課するものは即ち府縣の稅會なり然るに經費全體の出處は元の儘なるに獨り校長の給料のみを國庫の負擔と爲したるは如何なる理由なるや不審に堪へず或は説を爲して曰く校長の俸給を地方稅の支出に任ずるときは其地位は常に議會の左右する所と爲り例へば近來校長の地位に更迭の頻々たるも畢竟其れが爲りにして其結果は學校全體の職務上少なからざる影響を及ぼさざるを得ず今も此の患を免れんとするに校長の地位を獨立せしむるも第一にして今回其給料を國庫の負擔となしたるは亦ら此必要に出でたるものあらんと云ふものあれども既に經費の支出を地方稅に仰ぐ以上は議會の意向如何に依り其費額に増減移動の變あるは自然の數にして獨り校長一人の俸給を國庫の負擔と爲したればはて學校の全體には議會の影響を免る可らず故に若しも全く其目的を達せんとするに經費を地方に課するを廢し全國の師範學校を悉く官立學校と爲すの外に手段ある可らずと雖も是亦會人可くして行はざらんば且校長の地位をして獨立ならしむ可しと云ふ其獨立とは果して何等の意義なるや俸給を地方稅に仰ぐが故に其議會に對して獨立するものと云へば之を國庫に仰げば其筋に對して亦獨立するものと云はざるの道理にして校長の地位は地方長官もしくは文部省の監督の下に在るものとすれば即ち地方長官もしくは文部省に對しては失禮たる

獨立の實を見る能はざるものと云はざるを得ず加之從來の例として官府の中には一種の情實なるものありて官吏の地位亦も往々之が爲めに左右せらるるの風習なれば校長の地位が幸に會議の影響を免れたりとするも此情實の餘波は到底免る可らず議會多數の意向として時々の浮沈は圖る可らずと雖も政府内部の情實に至りては更に其變化の常なきもの多し其結果の輕重如何は誰を待たずして知る可きのみ左れば今回の改正にして他の理由に出でたるものなれば兎も角も若し前説の如く校長の地位を獨立せしむるの趣意なりとすれば其得失容易に斷ず可らざるものなり尙ほ又今の師範學校の制に關しては我輩別に意見なきにあらざれば開く所に據れば違からずして改正の沙汰あるよしなれば委細の説は新制發布の後譲り先づ既發の一項に就き聊か不審の塵を一掃して世論に質さんとすものあり

英通信

英國通信(前號の續) 在英國法學院 植村生

又グラスゴーを發してスターリングに至る者も亦少からず此地はフォース河の上流にありて蘇國王の舊居城あり又嘗て英蘭人と蘇人と屢々劇戰して蘇國の獨立を危ふし終に國王フリオリス大に國民の志氣を鼓舞し千三百十四年に我軍に三倍せる敵兵を取永く其國の滅亡を防きたるの舊址ハンノックハルンは城南半里に在り故に蘇國の歴史にはスターリングの名を見るも其地を多し此地昔時は繁榮ありしからんと雖も今は製造商の柱に依るもの少く僅かに旅人をして古昔を追憶せしむるのみ其城郭は今に尙ほ修繕して兵營となし馳めて古跡を保存す之に登りて四方を望めば怡も名古屋城樓の如く近傍は皆平野にして一物の觀望を妨ぐるなきも遠く山嶺の連綿するを見て故國の風景を想ひ起さしむるなりハンノックハルンには當時フリオリス王が其王旗を樹てしと云ひ傳ふる基石ありて今日に至る迄行人の此地を訪ふ者往て其石を観るを常とす亦其地を觀る傍に老翁あり當時の觀況を物語り蘇國は嘗て外國人の爲めに屈辱を受け所謂金匱無欠の一邦なりと誇言し其人民は不羈獨立を固守して終に其目的を失はざりしと反覆傳言して止まず是れ蘇人を知る者の常に感心する所なれども此地に於て此言を聞くときは一層の感あらしむ蓋蘇人は性剛毅にして勇敢なり質樸にして困難を忍ぶの美風あり敏捷ならざるも起業を成すの力あり快活ならざるも妙智ありと謂ふべし古來羅馬人の來襲に抗し又英人の侵入を取終に英蘇二國を合併して一王の下に居住して永く人種の競争を防ぎたるは地形の助くる所もありしなるべしと雖も其國民の氣質も亦與て大に然らしめたるは論勿きなり今日に至るまで蘇人は自ら區別して古來の慣習を存し雖然英人を部下に見るの氣風あるは實に明白なり是れ實に自愛自尊に外ならずと雖も蘇人が今日に至るまで成したる事業功績を考ふる時は必ずしも根柢亦自尊にあ

らざるものと認むべきなり又英人も蘇人を觀て嫉妬の念あるも之れを賤むの念を起すまどく却て心中其國風を重するを常とすスターリングを發しフォース河を下りてエナンパフに近き海港リスに達する汽船あり該河の上流は蜿蜒迂回して蛇行狀をなして舟行極めて奇なりフォースの河口に近きて有名なるフォース橋あり今年初めて竣工して汽車を通す橋下より仰て之を望むに其規模極めて大なり其全長二英里に達し中央の穹形は其廣さ二百八十間餘ありと云ふ近世の大工事にして汽車運輸上に便利を加へたるは實に莫大なるべしリス港は其名高からずと雖もエナンパフの咽喉にして儼然たる一大海港なり歐洲北部地中海北亞米利加等との通商は年々多額なりと云ふ此地の蓄水池架は近年の建造にして便利あり又三千五百英尺及び三千一百英尺に達する二條の防波堤を以て海港を保護す人工を加ふるに吝ならざるを見るなり

グラスゴー府より北方に赴く遊覽者は西岸海灣の屈曲出入する間を進航する遊覽船に乗るを常とす此航路に二三の巨船ありて船房の裝飾等は實に贅澤を盡し船客の快樂を計る爲めに殘す所なし其水路は大抵狭き灣内なれば我國の内海を航するよりも一層平穩なり其岬嶼の多き其陸地の峻峻進退する狀は日本の瀬戸内に酷だ似たり兩岸の山嶺は時に巖石の露出するを見るも絶えて峻峭なる兀頂を見ず之れ山陽道の山岳と同じからざるなりクリナン湖に至り船を變へたり其湖制は長さ九英里にして闊門十有五あり深さ十二英尺にして廣さ其二倍に過ぎず之を開鑿したる者は通商の便を計るの意なりしなるべしと雖も今は専ら遊覽者を楽しましむるに外ならず此湖航行線にして闊門の爲めに止まるも多數あり然れども却て兩岸を望んで山野の趣味を樂むには極めて便なりとす近傍の小女群をなして牛乳を船客に賣る其群、船と俱に進む時に船客戯れに小貨を投じてガリリク語の謳歌を聞く其聲愛すべし謳ひ了て其意を英語にて述べしめんとす小女皆笑て知らずと答ふ蓋此邊の山村には蘇國の土語ガリリクは今尙ほ存して之れを使用するものあり掘割を出で、再び他船に移り遊覽客の集合點とも稱すべきオリバンを過ぎフォートウィリアムに泊して聖朝カレドニヤン堀割の西端に入る其右にベンチピスト稱する高山あり直立四千一百英尺餘なり故に英國全土中に其右に出るものなし隨て旅人之を望んで其壯觀を喜ぶなり余の登る時は不幸にして朝雲の爲めに其上半を見ず隨て其景を目撃するを得ざりしと雖も後に遙かに之を望みたる所より評すれば平々凡々たる山岳たるに過ぎざるが如し我富嶽に比すれば其高さ大約三分の一なれば日本に在ては之れに注意するものなかるべし (未完)

愛蘭人

愛蘭人、飢饉に迫る、米人の義舉、過る千八百六十二年及び六十八年愛蘭にて饑饉ありし時平年の割合より一萬人以上も多く死亡し米國に赴きて活路を求めたるもの八萬人以上に及び又同七十九年大饑饉の際に究民の死亡少なくも九萬人に達し二年の歳月を経ざる内に海外に移住する者一萬八千人以上に及びたる概なるが本年愛蘭の西岸地方は馬鈴薯の收穫を得る能はず爲に農民は遠からずして全く食物の缺乏を告ぐるに至らん勢にて其困難一方ならず現に昨令飢饉に迫る者少からずして愛蘭自治黨の名士サロンの話を聞けば氏の補助する貧家は千三百戸にして一家族平均五人の割合なれば毎週平均五千弗を費すと云へり又一方にては西海岸地方の人民三十萬人は降雪の頃までに全く食物を

失ふからんとの説あり現に現の士は手を袖にして傍觀すアインの兩氏は十月一日日出山同國有志の義捐金を促さる上にも記載せし如く兩氏共々て拘留の身となりしかば其に憤激せり之に就て現政府は之の見客月二十七日倫敦の不幸に頓着せすと云ふ應答なりしも僅かなる口實に總理大臣ソールズベリー一月下旬國會の再び開かんとするの報告を見れば愛蘭馬鈴薯の信用する者無きは言を待たざるの報告を小ぢらしめんとしは不幸を蒙りたる地方の不幸を蒙りたる地方の不幸を憐むものに見へり新聞は明日の紙上に愛蘭同國の委員より同國人民に其の千八百七十九年の大饑饉をせん事を數願せしパーチ人の爲に數願人として天下是等の人々の方より數願せざるならんことを愛蘭の功績にして其委員長はウィルムス、クレヴァントの兩氏廣く南北亞米利加より義會を遣洋漁業、遣洋漁業は近き

は尙ほ早しと唱へ或は既に如何んは知らざれども兎に

の目的とある以上は今よ